相生市パートナーシップ制度利用の手引き

令和７年４月

**目次**

[１　相生市パートナーシップ制度とは](#_Toc18706) 1

[２　届出することができる方](#_Toc8016) 2

[３　届出手続について](#_Toc10842) 3

[３－１　届出手続の流れ（対面（持参）の場合）](#_Toc9949) 4

[３－２　届出手続の流れ（郵送の場合）](#_Toc17313) 5

[４　届出に必要な書類](#_Toc13535) 6

[５　届出後について－変更等が必要な場合](#_Toc20279) 8

[６　よくある質問（Ｑ＆Ａ）](#_Toc10212) 9

１　相生市パートナーシップ制度とは

・　この制度は、性的指向又はジェンダーアイデンティティにかかわらず、互いを人生のパートナーとし、相互の人権を尊重し、日常の生活において継続的に協力し合うことを約した関係（パートナーシップの関係）にある二人が、市に届出をし、市がその届出を受理したことを公に証明（受理証明書を交付）する制度です。

　・　この制度の周知、多様な性に関する市民への啓発等を通じて、法的に婚姻が認められていない同性カップルや、様々な事情により婚姻の届出をしていないカップルなどの日常生活の困りごとや不安の解消につなげ、誰もが人生のパートナーと協力しながら、安心して暮らせる環境づくりを目指します。

　　※本制度は、法律上の婚姻とは異なり、法的な効力（相続・税金の控除等）が生じるものではありません。

＜パートナーシップ制度届出受理証明書イメージ図＞

【表】　　　　　　　　　　　　　　　　　　【裏】

　※１人１枚ずつお渡しします。

* 届出や受理証明書の交付に費用はかかりません。ただし、届出に必要な書類（戸籍抄本等）の取得に係る手数料等はご自身でご負担ください。
* トランスジェンダーの方や外国籍の方等が日常的に使用している通称名（※）を記載することができます。
* 届出者と生計を同一とする子（養子を含む。）や親等の近親者（※）の氏名及び生年月日を特記事項欄に記載することができます（任意）。

➢届出に当たっては、制度趣旨や受理証明書の活用場面について、記載する近親者の方に十分なご説明をお願いします。

※提出書類はＰ７をご確認ください。

２　届出することができる方

　　お二人が、以下の（１）から（５）の要件を全て満たしている必要があります。お二人の戸籍上の性別、性的指向、ジェンダーアイデンティティは問いません。

（１）成年に達していること（満１８歳以上）

（２）どちらか１人は相生市民であること

* お二人とも市外に住んでいても、少なくとも1人が市内への転入を予定している場合は、届出することができます。ただし、転入予定の場合は、転入する前の自治体で転出手続をしておく必要があります。

（３）民法における配偶者がいないこと

* 戸籍抄本や婚姻要件具備証明書（独身証明書）で確認します。外国籍の方は配偶者がいないことが確認できる書類に日本語訳を添付して提出してください。

（４）届出しようとする相手方以外の人とパートナーシップの関係にないこと

* 共に届出をしようとする方以外の人と、既にパートナーシップの関係がある場合は届出できません。パートナーとなれるのは1人だけです。

（５）届出者同士が婚姻できない関係にないこと

* 民法第７３４条から第７３６条に定められている婚姻できない近親者（直系血族又は三親等内の傍系血族、もしくは直系姻族）にある場合は届出できません。
* ただし、パートナーシップの関係に基づく養子縁組をしているカップルの場合は、法的には近親者となりますが、届出することができます。

【婚姻をすることができない「近親者」の範囲】

直系姻族

直系血族

三親等以内の

傍系血族

③曾祖父母

②祖父母

①　父　母

配偶者

③曾祖父母

②祖父母

①　父　母

本　　人

②おじ・おば

②兄弟・姉妹

③おい・めい

配偶者

配偶者

配偶者

①　 子

②　 孫

③　曾　孫

①　 子

②　 孫

③　曾　孫

※○囲み数字は親等

３　届出手続について

（１）お互いの意思の確認

* パートナーシップとは、「互いを人生のパートナーとし、相互の人権を尊重し、日常の生活において継続的に協力し合うことを約した二者の関係」をいいます。
* お互いにパートナーシップの関係にあること、前頁（２ページを参照）の届出できる要件を満たしていることを確認してください。必ずしも同居している必要はありません。

（２）届出手続の方法

* 届出書類の提出については、原則、お二人そろって市役所までご持参いただくこととしています。郵送での提出を希望される場合でも、受理証明書受取時には少なくともお一人はお越しください（４～５ページを参照）。
* 届出に当たっては、**「相生市パートナーシップ制度届出書」**（様式第１号。以下「届出書」という。）に必要書類を添えてご提出いただく必要があります。

（３）子や親等の近親者の氏名等の記載について

* 生計を同一とする子や親等の近親者がいる場合には、**「相生市パートナーシップ制度届出受理証明書に係る近親者等に関する届出書」**（様式第３号。以下「近親者等に関する届出書」という。）を提出することにより、特記事項欄に、近親者の氏名及び生年月日を記載することができます。（任意）

（４）ご留意いただきたいこと

* お二人ともが市外在住で、少なくとも一方が市内に転入予定の場合は、転入手続が完了し、転入後の「住民票の写し」又は「住民票記載事項証明書」を持参又は郵送等によりご提出いただいた後に「受理証明書」を交付します。

⚠行政サービスを利用するに当たって

　行政サービスを利用するに当たって、市のパートナーシップ制度担当部署と行政サービス担当部署との間、又は他市町と行政サービス担当部署との間において、当該制度利用に関する個人情報を共有することがあります。

⚠届出内容の変更等について

　受理証明書の記載事項に変更等がある場合には「相生市パートナーシップ制度届出受理証明書変更届出書」（様式第６号）を、パートナーの解消等で要件を満たさなくなった場合には「相生市パートナーシップ制度届出受理証明書返還届出書」（様式第７号）をご提出ください。

３－１　届出手続の流れ（対面（持参）の場合）

* 原則、お二人そろってお越しください。

※お二人そろっての来庁が困難な事情がありましたら、予約時にご相談ください。

* 届出を行う場所は、市役所１号館２階会議室を予定しています。

　届出の事前予約

* 届出可能な時間は、平日の１０～１６時（１２～１３時を除く。）です。届出希望日から、原則７日前（土・日・祝日・年末年始を除く。）までに、以下の担当宛てにお電話にてご予約ください。

【連絡先】

相生市総務課

電話　0791-23-7126

* 予約のご連絡をいただいた後、原則３日以内（土・日・祝日・年末年始を除く。）に、担当者から「届出日時、場所、必要書類等」をご連絡します。

※届出の日時は、ご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

　届出・書類の提出

* 届出に必要な書類（６～７ページを参照）をご持参の上、予約した日時に、お二人そろってお越しください。

※「届出書」（様式第１号）は、当日その場でご記入いただくこともできます。

* 提出書類に不備等がないか、その場で職員が確認します。

※書類に不備や不足がある場合は、再度、日程調整の上、お越しいただくか、郵送していただく必要がありますので、十分にご確認ください。

　受理証明書の受取

* 希望に応じて、下記【１】【２】にて受理証明書を交付します。

【１】郵送で受取の場合は、７開庁日以内に指定の方の住所に特定記録等で発送します。

【２】対面での受取を希望される場合は、受取日時・場所をお知らせします。（受取は1人でも可能）

３－２　届出手続の流れ（郵送の場合）

* 様式の印刷及び届出に係る郵送料は、ご自身で負担していただく必要があります。

届出（必要事項の記入・書類の郵送）

* お二人で記入した「届出書」（様式第１号）及び必要書類（６～７ページを参照）を準備し、以下の担当宛てにご送付ください。

　　　　【送付先】

　　　　 〒678-8585 相生市旭一丁目１番３号

　　　　 相生市総務課

　　　　 電話　0791-23-7126

※様式の作成は、Wordファイルにより行っても構いませんが、届出者氏名は自署でお願いします。

* 記入内容や提出書類に不備等がある場合は、電話又はメールでご連絡します。内容をご確認の上、修正等のご対応をお願いします。

　受理証明書の受取

* 原則、対面で受理証明書を交付します。届出受付後、受取日時・場所をお知らせしますので、受け取りにお越しください。（受取は1人でも可能）

※来庁が困難な事情がありましたら、ご相談ください。

４　届出に必要な書類

届出に当たっては、「届出書」（様式第１号）に加え、以下の書類等をご提出又はご提示いただく必要があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 対面(持参) | 郵　送 |
| (1) | ① 住所が確認できる書類★ | 原本 | 原本 |
| ② 婚姻をしていないことを証明する書類★ | 原本 | 原本 |
| ③ 本人確認書類 | 原本提示 | コピー |
| (2) | ① 通称名を使用していることが分かる書類 | コピー | コピー |
| ② 子又は親等との関係性を確認できる書類 | コピー等 | コピー等 |
| ② 子又は親等の氏名等の記載に関する同意書 | 原本 | 原本 |

　　　★は３か月以内のものに限ります。その他、有効期限があるものは期限内のものをご準備ください。

（１）全員にご提出いただく書類

① 住所が確認できる書類

住民票の写し又は住民票記載事項証明書

※１人につき１通ずつ（届出するお二人が同一世帯の場合は、２人で１通）。

※本籍地及び世帯主との続柄の表示は不要です。また、住民票コードや個人番号（マイナンバー）が省略されたものを提出してください。

※市内に転入予定の場合は、転入前の自治体が発行した転出証明書（コピー）を提出してください。

② 婚姻をしていないことを証明する書類

戸籍抄本、独身証明書　等

※独身証明書は、本籍地の市区町村で取得できます。

※外国籍の方は、本国の大使館、領事館が発行する配偶者が居ないことを確認できる書類（婚姻要件具備証明書など）に日本語訳（翻訳者氏名も記載）を添付の上、ご提出ください。

③ 本人確認書類

個人番号カード（マイナンバーカード）、旅券、運転免許証、在留カード、官公署が発行した免許証・許可証又は登録証明書など、本人の顔写真が添付された証明書

※マイナンバーカードの裏面に記載されている個人番号は受け取りができません。表面のみご提出くださいますよう、ご注意ください。

※対面手続の場合は、原本をお持ちください。確認後、返却します。

（２）該当する場合のみご提出いただく書類

① 通称名の記載を希望する場合

　　個人番号カード（マイナンバーカード）や顔写真付きの社員証・学生証など、社会生活上、その通称名を日常的に使用していることが確認できる官公署又は就業先法人等が発行する書類

※郵便物は確認書類として使用できないため、ご注意ください。

※戸籍上の氏名は、受理証明書の特記事項欄へ記載します。

② 「近親者等に関する届出書」（様式第３号）を提出する場合

ア　子又は親等の近親者との関係性を確認できる書類

※住民票の写し、住民票記載事項証明書、戸籍抄（謄）本等

※不要な個人情報は、マスキング（黒塗り）してご提出ください。

イ　「近親者等の氏名等の記載に関する同意書」（様式第４号）

※子又は親等の近親者が**１５歳以上**の場合

※「近親者等の氏名等の記載に関する同意書」は、近親者の方が自署で記載してください。

５　届出後について－変更等が必要な場合

（１）受理証明書を汚したり、なくしたりした場合

**「相生市パートナーシップ制度届出受理証明書再交付申請書」**（様式第５号）を提出してください。また、紛失以外の場合は、以前の受理証明書を添付してください。

※紛失による再交付後に、以前交付したものが発見された場合には、これを返還してください。

（２）氏名・通称名を変更した場合

**「相生市パートナーシップ制度届出受理証明書変更届出書」**（様式第６号）を提出してください。氏名変更の場合は戸籍抄本、通称名変更の場合は変更したことが分かるもの（７ページを参照）が必要です。

（３）受理証明書の返還が必要な場合

次の場合には、**「相生市パートナーシップ制度届出受理証明書返還届出書」**（様式第７号）を提出してください。２人分の受理証明書を返還いただきます。

① パートナーシップの関係を解消したとき

② お二人とも市外に転出したとき

③ 届出の要件に該当しなくなったとき

④ いずれか一方が死亡したとき

⑤ 双方が受理証明書の廃棄を希望するとき

※①の場合には、１人分の返還があればパートナーシップが解消されたものとみなします。

※④による返還の場合は、希望により、当該受理証明書に死亡された日の翌日以降使用できない旨を明示した上で、再び交付することができます。

（４）子や親等の近親者を記載（又は削除）する場合

次の場合には、**「近親者等に関する届出書」**（様式第３号）を提出してください（７ページを参照）。

① 受理証明書に子や親等の近親者の氏名等を記載したいとき

② 受理証明書から子や親等の近親者の氏名等を削除したいとき

（５）子や親等の近親者が記載の削除を申し立てる場合

満１５歳に達した子や親等の近親者本人が、受理証明書から自身の氏名等を削除するための申立てをすることができます。**「相生市パートナーシップ制度届出受理証明書に関する申立書」**（様式第８号）に、近親者の身分証明書等の必要書類を添えて提出してください。

**６　よくある質問（Ｑ＆Ａ）**

**制度について**

Ｑ１　相生市パートナーシップ制度と婚姻制度の違いは何ですか。

　婚姻は法律に基づくものであり、婚姻することにより相続権や扶養義務など様々な法律上の権利や義務が発生します。一方、本制度は、市の内部規定である要綱に基づく制度で、上記のような法律上の効果はありません。また、届出により戸籍の記載が変わることもありません。

Ｑ２　届出することができるのは、同性のカップルだけですか。

同性カップルに限定していません。届出の要件を満たしていれば、戸籍上の性別にかかわらず届出することができます。また、性的指向やジェンダーアイデンティティにかかわらず、事実婚のカップルも届出できます。

Ｑ３　同居していなくても届出できますか。

　同居していなくでも届出できます。

Ｑ４　外国籍の人でも届出できますか。

　外国籍の人も届出できます。その場合、婚姻要件具備証明書（独身証明書）など、配偶者がいないことが確認できる書類に日本語訳を添付して提出してください。

　婚姻要件具備証明書（独身証明書）等の書類については、大使館・領事館等にご相談ください。なお、パートナーシップの届出をしても、在留資格や在留期間は変わりません。

Ｑ５　外国で同性婚をしているカップルは届出できますか。

　同性婚が合法化されている国・地域において、本市のパートナーシップ制度にかかる相手方と婚姻されている方は、当該国・地域の婚姻届にあたる書類を提出することで、本制度の届出ができます。同性婚をしていることが確認できる書類に日本語訳を添付して提出してください。

Ｑ６　外国籍の夫婦別姓のカップルは届出できますか。

　届出できません。本制度は、婚姻が認められないカップル、様々な事情により婚姻の届出をしていないカップルを対象としております。

Ｑ７　既にパートナーと結婚している性的マイノリティのカップルは届出できますか。

　届出できません。本制度は、婚姻が認められないカップル、様々な事情により婚姻の届出をしていないカップルを対象としております。

Ｑ８　兵庫県パートナーシップ制度の受理証明書を持っていますが、相生市での手続は必要ですか。

　兵庫県パートナーシップ制度を利用されている方が、本市のパートナーシップ制度の利用も希望される場合は、改めて市に届出をする必要があります。ただし、兵庫県パートナーシップ制度の受理証明書の提示等により本市で受けられるサービスに相違はありません。

Ｑ９　他市町のパートナーシップ制度の証明書等を持っていますが、相生市でも届出できますか。

　本市でも届出をしていただくことが可能です。ただし、市町制度によっては、他の自治体との重複申請ができない場合もありますので、お住まいの市町にご確認ください。

Ｑ10　通称名は使用できますか。

　通称名で届出することや、通称名を「パートナーシップ制度届出受理証明書」に記載することもできます。その場合、裏面に戸籍上の氏名を記載します。

　ただし、届出の際、社会生活において日常的に当該通称名を使用していることが分かる書類をご提示いただきます。（７ページを参照）。

Ｑ11　受理証明書に子や親等の氏名を記載できるようにしたのはなぜですか。

　パートナーと協力して子育てをする場合や、親や障がいのある「きょうだい」等を看る場合、園への送迎や緊急医療、病院や介護施設等での面会や付き添いなどにおいて、困りごとが生じることが考えられます。このような場合に、「パートナーシップ制度届出受理証明書」に子や親等の氏名の記載があれば、その者も含めた関係性を説明しやすくなることが期待されます。

**手続について**

Ｑ12　パートナーシップの届出手続に費用はかかりますか。

　届出や「パートナーシップ制度届出受理証明書」の交付に費用はかかりません。

　ただし、届出等の際に必要な確認書類の交付手数料等は自己負担となります。

Ｑ13　代理で届出できますか。

　原則として、代理人による届出はできません。郵送を利用する場合でも、必ずご自身で書類を作成し届出してください。ただし、やむを得ない事情で、ご自身による手続が困難な場合は、ご相談ください。

Ｑ14　届出を対面（持参）でする場合、個室で対応してもらえますか。

　届出者のプライバシーを保護する観点から、原則、個室をご用意します。

Ｑ15　土日など、休みの日に届出することはできますか。

　届出できるのは、月～金曜日（祝日・年末年始を除く。）10時～１６時（12時～13時を除く。）で、事前の予約が必要です（４～５ページを参照）。

Ｑ16　受理証明書はすぐに交付されますか。

　手続の都合上、「パートナーシップ制度届出受理証明書」を即日交付することができません。後日、郵送または対面での交付となります。（４～５ページを参照）。

Ｑ17　パートナーとの関係を解消した場合はどうすればいいですか。

　「相生市パートナーシップ制度届出受理証明書返還届出書」（様式第７号）を提出し、「パートナーシップ制度届出受理証明書」を返還してください（８ページを参照）。この場合には、１人分の返還があれば、パートナーシップが解消されたものとみなします。

Ｑ18　市外に転出する場合はどうすればいいですか。

　お二人とも市外に転出する場合は、「相生市パートナーシップ制度届出受理証明書返還届出書」（様式第７号）を提出し、「パートナーシップ制度届出受理証明書」を返還してください。（８ページを参照）。

　ただし、パートナーシップ制度を導入している自治体（県内市町・大阪・京都等）に転出し、引き続きパートナーシップ制度の届出等を希望される場合は、手続簡素化ができる場合があります。詳しくは、お問い合わせください。

**受理証明書について**

Ｑ19　受理証明書に有効期限はありますか。

　有効期限はありません。

Ｑ20　受理証明書は再交付してもらえますか。

　受理証明書を紛失したり、汚したりしてしまった場合には、再交付します（８ページを参照）。

Ｑ21　受理証明書の再交付の際に、最初の届出日を記載してもらえますか。

　届出時の年月日を記載することができます。また、必要に応じて、届出書記載内容証明書交付申請書を提出することにより、届出時の年月日を記載した届出書記載内容証明書を交付させていただきます。

Ｑ22　受理証明書の氏名や通称名を変更することはできますか。

「相生市パートナーシップ届出受理証明書変更届出書」（様式第６号）に必要書類を添えてご提出いただければ、受理証明書の記載内容を変更して交付します（８ページを参照）。

Ｑ23　受理証明書にはどのような使い道がありますか。

　受理証明書の提示等により、市内の公営住宅の入居申込みや公立病院での面会等の行政サービスが利用しやすくなります。また、県ホームページ等で案内されているサービス・対応等についても、利用できる場合があります。

Ｑ24　パートナーが亡くなりました。受理証明書は返還しなければなりませんか。

　パートナーが亡くなられたときは、「相生市パートナーシップ制度届出受理証明書返還届出書」（様式第７号）を提出し、２人分の受理証明書を返還いただきますが、希望により、当該受理証明書に死亡された日の翌日以降使用できない旨を明示した上で、再びお渡しすることができますので、ご相談ください。

Ｑ25　結婚した場合は受理証明書等を返還しなければなりませんか。

　本制度は、婚姻が認められないカップル、様々な事情により婚姻の届出をしていないカップルを対象としております。お手数ですが、「相生市パートナーシップ制度届出受理証明書返還届出書」（様式第７号）を提出し、受理証明書を返還してください。

Ｑ26　受理証明書は、公的な本人確認書類として使用できますか。

　使用できません。お二人がパートナーシップの関係にあることを届出した事実を証するものです。

**制度の運用等について**

Ｑ27　なりすましや偽造等の悪用をされませんか。

　届出手続の際には、住民票の写し及び戸籍抄本等の提出と、マイナンバーカード等の本人確認書類の提示を求めることで、なりすまし等を防止します。なお、本制度には罰則を設けていませんが、万が一、不正利用や偽造・変造が認められた場合には、「パートナーシップ制度届出受理証明書」を返還いただきます。併せて、刑法上の罪に問われる恐れがあります。